

2022年8月31日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について
 ～お客さまのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、藤間工業株式会社（代表取締役 藤間 鋼太郎）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2022年8月31日（水）
2. 融資金額 50百万円
3. 融資期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/08/news_release_suf_20220831_jpn_04.pdf

6. 藤間工業株式会社の概要

代 表 者	藤間 鋼太郎
本社所在地	愛知県名古屋市西区幅下一丁目 10 番 30 号
業 種	空調設備、衛生設備、消火設備工事業
創業年月日	1945年10月

< 記念盾贈呈式の様子 >



藤間工業株式会社

代表取締役 藤間 鋼太郎 氏

株式会社名古屋銀行

名古屋駅前支店長 江川 博也

※写真撮影時のみマスクを外しております。

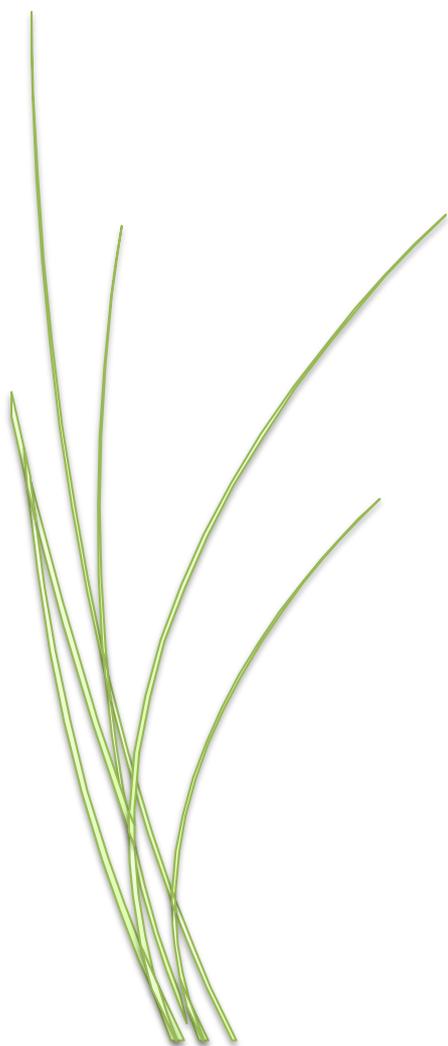
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～藤間工業株式会社～



2022年8月31日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、藤間工業株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、藤間工業株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	藤間工業株式会社
所在地	愛知県名古屋市西区幅下一丁目 10 番 30 号
従業員	22 名 ※2022 年 8 月末時点
売上高	931 百万円
事業内容	空調設備、衛生設備、消火設備工事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

目次

1. 企業情報	3
① 会社概要	
② 沿革	
③ 会社概要	
④ 経営理念	
2. 事業内容	6
(1) 空調設備工事	
(2) 衛生設備工事	
(3) 消火設備工事	
(4) メンテナンス・リニューアル工事	
3. その他の活動	10
① 品質への取組み	
② 環境への取組み	
③ 地域貢献への取組み	
④ 人材教育	
⑤ SDGs への取組み	
4. インパクトの特定	13
① インパクトマッピングによるインパクト分布	
② インパクト分布図	
③ 国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	20
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	22
7. モニタリング方法	22
8. 総括	22

1. 企業概要



①会社概要

会社名	藤間工業株式会社
創立年月日	1945年10月
資本金	50,000,000円
代表取締役社長	藤間 鋼太郎
本店所在地	愛知県名古屋市西区幅下一丁目10番30号
事業所	木曾営業所 : 長野県木曾郡木曾町日義4898-186 中村倉庫 : 名古屋市中村区横井一丁目60番地
許可・免許	建設業許可 : 愛知県知事許可第104306号(管工事業・消防施設工事業) 給水装置指定店 : 名古屋市・常滑市・春日井市
従業員数	22名 ※2022年8月末時点
在籍技術者	一級管工事施工管理技士 : 10名 消防設備士 : 3名 建築設備士 : 2名 一級建築士 : 1名
決算日	3月31日



②沿革

会社の歩み	工事の記録	できごと
1945年 名古屋市中区島田町において 初代社長藤間鈞冶が創業	1946年 進駐軍白川村住宅給水給湯工事	太平洋戦争終戦 流行歌「リンゴの唄」
1949年 資本金200万円にて 藤間工業株式会社に改組 愛知県知事登録を実施	1949年 名古屋郵政局公舎給水工事 刈谷市総合運動場給水工事	湯川秀樹博士 ノーベル物理学賞受賞 映画「青い山脈」
1959年 名古屋市中区丸の内に移転	1959年 東京芝浦電気(株)名古屋工場 給排水工事	皇太子殿下・美智子妃殿下 ご成婚 テレビ「月光仮面」
1969年 木曾営業所を開設	1969年 名鉄百貨店木曾駒寮新築工事	人類初の月面着陸 映画「男はつらいよ」
1979年 藤間敏雄が代表取締役社長に就任 愛知県知事許可を取得	1979年 セントラルパーク消防施設工事	イギリス初の女性首相 (サッチャー) 誕生
1995年 創業50周年を迎える	1994年 久屋大通公園「水の広場」 噴水設備工事	野茂選手が大リーグ新人王 獲得
2002年 ISO9000取得	2002年 名古屋大学インキュベーション施 設機械工事	サッカー日韓W杯開催
2006年 藤間鋼太郎が代表取締役社長に 就任	2006年 有松市街地再開発空調衛生工事 (JV)	トリノオリンピック開催
2008年 名古屋市西区幅下（現在地）に 移転、本社屋を新築	2008年 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター空調工事	北京オリンピック開催 タクシー全面禁煙化
2015年 創業70周年を迎える	2015年 瑞穂文化小劇場・瑞穂図書館 衛生工事	北陸新幹線開業
2020年 木曾保養所・営業所を移転リニュー アル	2020年 久屋大通公園整備事業	新型コロナウイルス禍発生

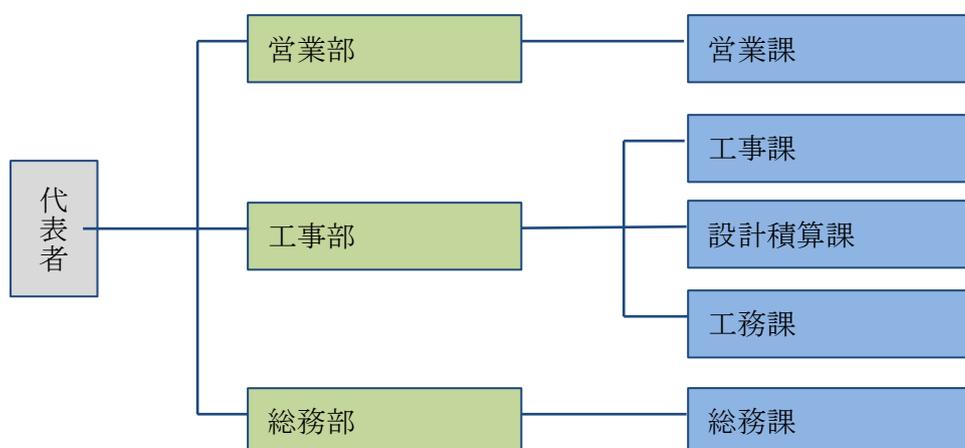
③会社概要

給排水衛生設備・空気調和設備・消火設備の設計施工ならびにメンテナンス業務に従事。ライフラインを支える産業に携わるものであるという責任を自覚し、顧客がより安全で快適な生活を営める設備空間を提供し続けている。

大手ゼネコン、官公庁、他業種企業等から受ける幅広いニーズに対し、長い業歴の中で培ってきた高い品質を生み出すノウハウと、小回りを利かせた柔軟な対応力によって、他社差別化が図られている。

社内体制としては、代表者をトップとし、営業部、工事部、総務部を設置。システムを利用した全社的な情報の共有と業務効率化に努めている。

【組織図】



④経営理念

- ・ 安全で快適な空気と水を供給する設備空間を幅広く提供する
- ・ 常に誠実な技術的良心をもってお客様の要望に応じてゆく

生活様式や産業形態の多様化に伴い、地球環境への影響を配慮した設備技術も必要とされる等建築設備への要求は高度化しているが、当社は上記経営理念に則り、幅広いニーズに応えるべく社員一同が技術的良心を持ち、空調・衛生・消火設備の設計施工、メンテナンス、リニューアルと、高品質なサービスを展開できるよう日々研鑽を重ねている。

2. 事業内容

(1) 空調設備工事

施工技術・導入技術

- 産業空調設備 ●床放射空調設備 ●中央式空調設備 ●スポット空調設備
- エアジェットシステム（大空間空調換気設備） ●個別式空調設備(EHP/GHP)
- 恒温恒湿空調設備 ●コージェネレーション設備 ●脱臭設備 ●地下水利用HP設備
- ドライ型ミスト設備 ●変流量制御他自動制御設備 ●省エネ計算業務 他

①業務用空調設備



当社の主な受注内容として、工場・物流倉庫などに設置する産業用の空調設備工事が挙げられる。

工場の作業員が快適で安全な労働環境を維持するための空調設備や、温度や湿度に敏感な物品を保管する物流倉庫など、業務用空調設備の中にも様々なニーズが存在しており、それらを正確に捉えた上で、製品や設置方法等における最適な提案を行っている。

②オフィス・住居用空調設備



オフィスや学校・病院・共同住宅などの公共・一般建造物に対しても空調設備を提供している。快適な温度や新鮮な空気は、人が生活し働くうえで欠かせないものであるが、施設用途に応じて空調方式も異なってくる。当社では多種多様な施設に対応できるよう製品ラインナップを取り揃え、安全で快適な空気的环境を作り出せるよう体制を整えている。

③エコ・省エネ空調設備



地球環境への配慮が重要視される昨今、空調設備も省エネ性能進化や環境に配慮したシステムの導入が盛んに行われてる。

省エネ設備の導入による空調設備稼働時のランニングコストの低減や、今や企業の使命の一つとなった環境配慮についても、当社は積極的に支援している。

(2) 衛生設備工事

施工技術・導入技術

- 循環水処理設備 ●雨水再利用設備 ●感染系排水処理設備 ●浄化槽設備
- 井戸工事・地下水調査特殊ガス配管設備（圧縮空気・酸素ガス・アセチレンガス・アルゴンガス）
- 医療用ガス配管設備（酸素・吸引・笑気・窒素・二酸化炭素） ●厨房設備
- ラジオアイソトープ排水処理設備 ●ガス設備工事 ●HP 給湯設備 他

①業務用衛生設備



業務用に水を使用する工場や病院などのニーズに応えるため、当社では一般の給排水設備のほか、汚染水の処理設備や循環水・雨水再利用システムを提供している。

また、病院で使用される医療ガス配管設備、工場などで使用される特殊ガス配管設備といった専門的設備の対応も可能である。

②オフィス・住居用衛生設備



オフィスのトイレや給湯設備、住宅の厨房や入浴設備など生活インフラとしての衛生設備の実績も数多く積んでいる。

ガス設備・床暖房工事など、様々な角度から生活環境を一層快適にするための提案は当社が得意とする分野である。

③エコ・省エネ衛生設備



衛生設備の分野では、水の再利用設備や排水処理設備など、多くの環境に配慮した技術が取り入れられているが、当社はこの分野でも技術を積み重ねてきた。

給湯設備においても省エネ設備の導入をする等、環境に配慮した衛生設備を取扱っている。

(3) 消火設備工事

施工技術・導入技術

- 消火栓設備
- 不活性ガス消火設備
- スプリンクラー設備
- 泡消火設備
- 粉末消火設備
- フードダクト用消火設備
- 他

①業務用消火設備



工場・倉庫など建物内の設備や物品を火災から守るため、また電気火災・油火災・液化ガス火災とさまざまな火災に対応すべく、種々の消火設備を提供している

消火時の水損・汚損を防ぐ粉末消火設備や、人体や地球環境にもやさしい窒素等を使用し、美術品や書類を火災から守る不活性ガス消火設備についても対応している。

②オフィス・住居用消火設備



オフィスや住宅で普及しているスプリンクラー設備、連結送水管設備などの消火設備といった人命を守るうえで欠かすことのできない建築設備も対応分野である。

「水」を使用する消火設備についても当社は永年の経験を保持しており、排煙設備も含め、総合的提案が可能である。

(4) メンテナンス・リニューアル工事

①メンテナンス業務

施工技術・導入技術

- 水質検査分析業務
- 漏水調査・修理・管路調査業務
- フロン排出抑制法に伴う空調機点検業務
- 各メーカー機器修理業務 他



日常の設備検査を行い、機器の寿命を延ばすとともに、故障の予兆をいち早く察知し、対応するメンテナンス業務も引き合いは多い。

法令で定められた貯水槽洗浄や空調機の点検はもちろんのこと、設備機器が正常に機能するかどうかの点検・保守業務や水質検査業務まで、幅広いニーズに対応している。

②リニューアル業務

施工技術・導入技術

- 機器・配管更新調査、計画、施工
- 配管劣化診断
- BCP（事業継続計画）対策
- 不断水・凍結工法
- ダクト清掃工事
- 配管ライニング工事
- 給水設備直圧化工事
- 配管耐震化工事 他



劣化に伴う設備の更新工事や、建物用途の変更に伴うリニューアル工事についての経験値も高い。

省エネ機器の導入による建物のランニングコストの低減や、災害に備えた配管の耐震化工事など、日々進化し多様化する顧客のニーズに今後とも木目細かく対応していく方針である。

3. その他活動

①品質への取組み



当社は、製品やサービスの品質保証を維持し、顧客満足度の向上と品質の継続的な改善を実現することを目的とし、2002年にISO9001の認証取得している。2017年度にはシリーズ最新版であるISO9001:2015への移行も完了しており、さらなる品質向上に努め続けている。

また、近年では、施工管理ツールへのICT技術の導入を実施し、品質の向上と社員のワークライフバランスの両立を成し遂げる取組みにも挑んでいる。今後の技術革新も見据えBIM(Building Information Modeling)にも積極的に対応し、エンドユーザーまで含めたDXの推進に取り組んでいる。

②環境への取組み



安心して安全な水と空気を提供する事業に従事する当社では、大気環境を保全するためのフロン排出抑制、海洋汚染を防ぐための排水処理施設の設置等、事業活動を通じて環境にやさしい社会の構築に取り組んでいる。

事業活動における環境に配慮した取組を、自主的かつ積極的に実施し、2010年に名古屋市より「エコ事業所」として認定を受け、その後も継続的な取り組みを実施し、2022年には名古屋市に「なごやSDGs グリーンパートナーズ」の「認定エコ事業所」として認定されている。

③地域貢献への取組み



地元である愛知県に根差した企業として自治体や業界団体、地域社会と連携した地域貢献への取組みを実施している。

安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業として、愛知県と連携し、犯罪のない安全なまちづくりと交通安全の推進を実施。また、愛知県や名古屋市住宅都市局等の自治体と業界団体を通じ震災発生時の防災協定を締結し、学区の防災訓練等にも協力参加もを行っている。

その他にも近隣での清掃活動の実施や、子ども会への協賛など地域に密着した活動に取り組んでいる。

④人材教育

当社では、企業を支えるのは従業員一人一人の力であるとの認識が強くあり、人材育成について各種体制を整えている。



時期	月	日	曜日	期数	No.	区分	題名	内容	形式	講師	対象	備考
入社1週間	4月	1	月	1	1	社内	新入社員歓迎会	新入社員歓迎会	懇話会	課長	新入社員	新入社員歓迎会
					2	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					3	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					4	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
入社1ヶ月	4月	2	月	1	1	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					2	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					3	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					4	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					5	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					6	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					7	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					8	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					9	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					10	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					11	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション
					12	社内	新入社員オリエンテーション	新入社員オリエンテーション	講義	課長	新入社員	新入社員オリエンテーション

全社員が平等に同様の教育・訓練が実施されるよう「教育・訓練手順書」を作成し、教育の標準化が行われている。

また、新入社員に対してはOJT（業務内教育）だけでなく、外部講師も含んだOFF-JT（業務外教育）をトータル150時間程度行い、早い段階で基礎知識習得できるような仕組みが構築されている。

キャリアアップ教育として、当社業務に必要な資格の取得を支援しており、受験対策講習（外部講習・内部講習）を実施するとともに、一級管工事施工管理技士および消防設備士の資格取得においては、取得にかかる費用を全面会社負担としている。他にも、管理者教育として入社後15年経過した社員向けに管理能力の向上教育の実施や、新技術・新工法への対応のために各種外部講習の受講を積極的な支援等、従業員のスキルアップを長期にわたってサポートしている。

⑤SDG s への取組み



2022年4月7日にSDG s の理念に賛同し、SDG s 宣言を実施。事業活動を通じた持続可能な社会の実現をめざした自社の取組みを対外的に公表している。

また、2022年7月1日に愛知県の実施するSDGs登録制度にも登録。2025年までに当社のSDG s 目標を達成するため、更なる取組みを強化をしていく。

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により藤間工業株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。藤間工業株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。藤間工業株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については藤間工業株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に藤間工業株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

・川上の事業

インパクトカテゴリ	川上企業							
	【 4322 】		【 4329 】		【 4659 】		【 4663 】	
	配管・暖房・空調設備工事業		その他の建造物設備設置工事業		その他機械器具卸売業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）	★★							
食料								
住居	★★		★★				★	
健康・衛生	★						★	
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー							★	
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）						★		★
大気		★				★		★
土壌								
生物多様性と生態系サービス						★		★
資源効率・安全性								
気候						★		★
廃棄物		★		★		★		★
包括的で健全な経済					★			
経済収束								

川上事業としては、当社の工事下請企業、及び空調・排水・消化設備等の卸売を担う企業の事業が該当し、機械設備メーカーとの直接取引は僅少であるため、分析対象からは除外した。同インパクトは上記の通りであり、『水（入手）』『住居』『健康・衛生』『雇用』『エネルギー』『包括的で健全な経済』におけるポジティブが確認された。人間がより快適に過ごすための設備を整備するという観点から『水（入手）』『住居』『健康・衛生』『エネルギー』において、ポジティブインパクトは大きくなった。

一方で、ネガティブとしては『雇用』『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『気候』『廃棄物』といった環境におけるものが多く散見されている。特に卸売業における製品輸送過程で排出される汚染物質、廃棄物による影響が大きいものと見受けるが、当社努力により直接の緩和は難しい領域である。

・ 当社の事業

インパクトカテゴリ	同社事業							
	【 3319 】		【 3320 】		【 4322 】		【 4329 】	
	その他の機械器具修理業		産業用機械器具設置業		配管・暖房・空調設備工事業		その他の建造物設備設置工事業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）	★		★		★★			
食料								
住居					★★		★★	
健康・衛生					★			
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）	★		★					
大気	★		★			★		
土壌	★		★					
生物多様性と生態系サービス	★		★					
資源効率・安全性	★★							
気候	★		★					
廃棄物		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★					
経済収束								

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りであり、『水（入手）』『住居』『健康・衛生』『雇用』『水（質）』『大気』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『包括的で健全な経済』についてポジティブインパクトが確認された。確認された理由としては、川上事業と同様、人間がより快適に過ごすための設備を整備するという観点によるものである。

ポジティブインパクトを生み出す源泉となっていることとして、空調・衛生・消火設備関連における多種多様なニーズに対して、包括的に対応可能であるという当社の強みが挙げられる。

当社強みを支えている要素は、主に下記3点である。

1. 創業から77年という歴史において、大小含め工事実績累計25,000件以上（現在の年間工事実績は600～700件程）の現場をこなしてきたことで蓄積されたノウハウ・情報を保有している
2. 数多くの下請・協力企業と強固な関係を築いており、工事の規模・得意領域・繁忙による納期調整・コスト感等を鑑みて選定が行える

3. 適時システム化を進めることで情報の共有が為されており、一案件に対して担当者個人だけでなく、企業全体として対応することを意識している

高い対応力を有することで、エネルギー効率が高まる工場レイアウトの実現や、設備を簡単に総入れ替えするのではなく、既存設備を活かしながら最小限の部品取替えで済ませる等、資源効率を高め、より最適なかたちでポジティブインパクトが拡大できる体制が構築されている。

対してネガティブインパクトについては、『雇用』『大気』『廃棄物』の分野で確認された。工事を行う際の大気汚染、廃棄物の発生が主な理由である。廃棄物の適正処理や環境関連の法令順守等を行い、ネガティブインパクト縮小を図っている。

・川下の事業

インパクトカテゴリ	川下の事業									
	【 4100 】		【 5210 】		【 6810 】		【 8510 】		【 8521 】	
	建築工事業		倉庫・保管業		自己所有物件または賃借物件による不動産業		初等前教育及び初等教育		一般中等教育	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）										
食料										
住居	★★				★	★				
健康・衛生	★	★			★	★				
教育							★★		★★	
雇用	★	★	★	★	★	★	★★	★	★★	★
エネルギー	★	★								
移動手段										
情報										
文化・伝統		★			★	★				
人格と人の安全保障		★								
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★								
大気		★		★						
土壌		★				★				
生物多様性と生態系サービス		★				★				
資源効率・安全性		★				★★				
気候		★★		★		★★		★		★
廃棄物		★★				★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★★	★	★★	★
経済収束	★							★		★

インパクトカテゴリ	川下の事業									
	【 8530 】		【 8411 】		【 8610 】		【 9329 】		【 中分類28 】	
	高等教育		一般公務		病院事業		他に分類されないその他の娯楽・レクリエーション活動		他に分類されない機械器具製造業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）									★	
食料										
住居										
健康・衛生					★★		★			
教育	★★									
雇用	★★	★	★	★	★★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段									★	
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障			★★							
正義			★★							
強固な制度・平和・安定			★★	★★						
水（質）										★
大気										★
土壌										★
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										★
気候		★		★		★				★
廃棄物		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★★	★	★★			★			★	
経済収束		★								

川下の事業におけるインパクトは上記の通りであり、『水（入手）』『住居』『健康・衛生』『教育』『雇用』『移動手段』『文化・伝統』『人格と人の安全保障』『正義』『強固な制度・平和・安定』『包括的で健全な経済』におけるポジティブが確認された。

ネガティブインパクトについても環境におけるものを中心に広い範囲で確認ができるが、当社の高効率機器への取換工事件数やエコ・省エネ衛生設備の提案件数を増加させることで、ネガティブインパクト縮小が図れるものと考え、KPIを設定するものである。

尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応するSDGsのゴールは、下記の通りである。

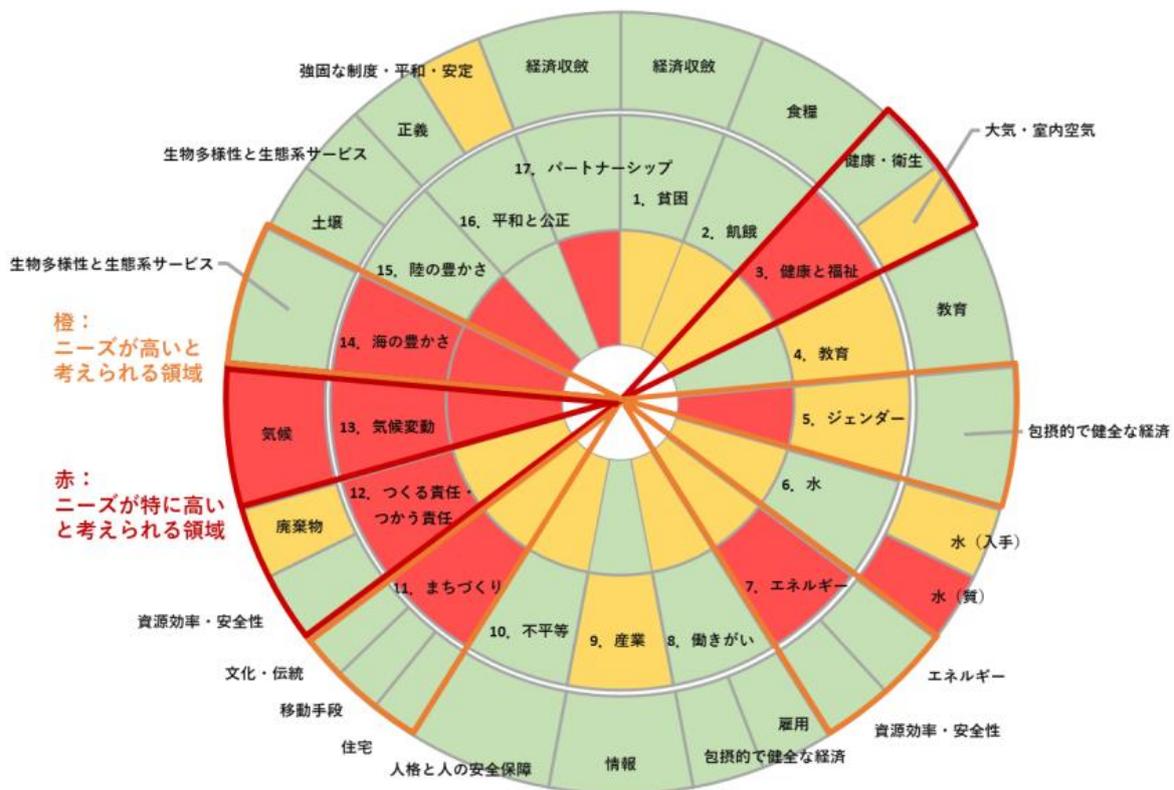
※対応するSDGsのゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべきSDGsを赤色、取り組むべきであるが不十分なSDGsを黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した藤間工業株式会社のインパクトと対応するSDGsのゴール「3、6、7、8、9、12、13」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



5. 測定するKPI

① 持続可能な経済の実現

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	BCP対策、サプライチェーンの維持、生産性の向上
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP対策の強化のため事業継続力強化計画の作成する（内容報告） ・引渡し後の不良率を年間0.1%以下にまで低減させる（実績開示）

② ダイバーシティの実現とQOL向上

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	平等で生き生きとした働きやすい労働環境
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・女性技術職を毎年1名以上採用し、2027年までに全体の10%以上の割合とする（実績開示） ・2027年までに従業員の年間平均休日を125日以上を達成する（実績開示） ・2027年までに介護休暇および出産・育児休暇について、累計取得者を5名とする（実績開示）

③ 働きやすい環境整備

項目	内容
インパクトの種類	社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」「健康・衛生」
関連するSDGs	 
対応方針	安心安全な職場環境
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・年間労働災害件数ゼロを維持する（実績開示） ・2027年までに残業時間を15%削減する（実績開示）

④ 高効率・エコ・省エネ機器の普及

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「大気」「水（入手）」「水（質）」「資源効率・安全性」
関連するSDGs	   
対応方針	環境に優しい製品の奨励
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の少ない高効率機器への取換工事件数を年間10件以上行う（内容報告） ・エコ・省エネ設備の提案数を把握し、年間10%以上増加させる（実績開示）

⑤ CO2排出削減に向けた多面的な取組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「大気」
関連するSDGs	 
対応方針	CO2排出量の削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年までに社用車を順次ハイブリッド車へ入れ替え、全体の20%以上とする（実績報告） ・2027年までに電力使用量を視える化するシステムを導入し、使用量を10%削減する（実績報告）

6. インパクトの管理体制

藤間工業株式会社は藤間社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、藤間社長が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 藤間 鋼太郎
-------	--------------

7. モニタリング方法

藤間工業株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

藤間工業株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。藤間工業株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。